令和４年度　神山中学校　学校評価　総括評価表

評価指標　アンケート肯定的評価・・・８０％以上：Ａ，８０～６０％：Ｂ，６０～４０％：Ｃ，４０％未満：Ｄ

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒質問項目	評価	保護者質問項目	評価	教職員質問項目	評価	その他
１　安全安心な学校づくりを推進する。	①安全教育・防災教育を推進するとともに学校の安全対策及び感染症対策に努める。	１　避難訓練などの防災教育によって，地震や火災などの災害時に自分がとるべき行動を理解している。	A	１　学校は台風や積雪などの自然災害時において，メール等で適切な連絡ができている。	A	１（授業担当者）学校行事を含め，授業においても防災教育や安全教育を進めている。	A	
		２　登下校時や学校にいるときに不審者に対して自分がとるべき行動を理解している。	A					
						２（全教職員）自分の担当場所について，校内の施設設備の安全点検が実施できている。	A	
		３　マスクを着用したり，帰宅時に手洗いをしたり感染症対策をきちんと行っている。	A	２　子どもは基本的な感染症対策をきちんと行っている	A	３（全教職員）感染症対策として適切な予防措置が行えている。	A	
	②生徒相互及び生徒の間の信頼関係を確立するとともに，いじめや不登校の早期早期対応と解消に向けた取組に努める。	４　困ったことがあれば相談にのってくれる友達や先生がいる。	A	３　子どもは家庭で，友達や先生の話をよくしている。	B	４（全教員）生徒理解の視点を重視し，個に応じた指導を行っている。	A	
		５　先生はいじめや困っていることがあればすぐに取り上げてくれる。	A	４　学校は子どものことについて適切に相談に応じてくれる。	A	５（全教員）いじめや不登校の防止や早期発見，早期対応について共通理解や組織的対応ができている。	A	
		６　SNS等を利用するときはモラルやマナーをきちんと守っている。	A	５　子どもが家庭でインターネットを利用するときのルールを話し合って決めている。	B			
	③新校舎での教育が多様な活動になるよう工夫し，近隣の施設と連携して充実した活動を行うとともに生徒の安全に配慮する。	７　新校舎での学習活動は充実していると感じる。	A			６（全教職員）新校舎に移転し体育館が無い等の新たな状況にも工夫して教育活動を行っている。	A	

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
・概ね安全安心な学校づくりが推進できていると言える。 ・本年度からの新校舎での学習活動も生徒が充実していると感じている。 ・家庭では思春期を迎えた発達段階ということもあり，学校でのことを保護者にあまり話さない生徒もいる。 ・生徒はインターネットの使い方について適切だと認識しているが，保護者の「よく思う」回答が昨年より減少しており，家庭でのルールづくりには課題が見られる。 ・教職員の質問項目の１や２の肯定的回答が昨年より向上しており，教職員の安全への意識が高まっている。	・学校での活動を直接見られる参観授業やオープンスクール，学校行事の機会への保護者参加を促す。 ・インターネット安全教室等の活動時に保護者参加を検討する。	・中学生の子どもは学校の様子をあまり家で話さない子もいるので，保護者は学校でのようすを知りたい気持ちがある。 ・インターネットについては便利だが課題がある。今の子どもは，インターネットが普通にある世界から人生が始まっているので，年配の人と違って，良い方向にも悪い方向にも垣根が低いのだと思う。 ・家庭では，子どもはネットのゲームをよくしている。今のところ同級生や出身小学校の子どもとしているようだが，知らない人とはやりとりをしないようにという話はしている。

２　確かな学力を育成する。	①新学習指導要領の完全実施を目指し，主体的・対話的で深い学びの実現をめざした生徒の積極的な姿勢が見られる授業実践を展開する。	８　授業では，１時間のめあてを確認できていて，授業の最後には１時間の学習を振り返っている。	A			７（授業担当者）授業では，めあてを明示し，学習の流れを確認して，最後には振り返りを行っている。	A	
		９　ペアやグループ等の話し合い活動では積極的に考えを言えている。	A	６　子どもは自分の考えをわかりやすく説明することができる。	B	８（授業担当者）授業では，ペアやグループ学習の場面を多く設定している。	A	
		10　ほとんどの教科の授業でタブレットが活用できている。	A	７　学習用タブレットを持ち帰ったときには，有効に学習に使えている。	B	９（授業担当者）授業中の活動の中に，タブレットを活用する場面を積極的に取り入れている	B	
	②生徒自身が学びによって喜びを味わい，達成感を実感できる学習活動を行う。	11　授業での学習活動において，楽しいと感じたり，やり遂げたことを実感できたりしたことがある。	A	８　子どもは以前より学習への意欲が高まったと感じる。	B	10（授業担当者）生徒の関心を引き出したり，達成感を感じさせる授業を工夫している。	A	
	③自分の将来にとって必要な学びを意識させることにより，主体的に学習に取り組む態度を育てる。	12　積極的に自分の意見を述べ，主体的に授業に取り組んでいる。	A			11（学年団）自分の将来に向かって学習に臨めるようキャリア教育を進めている。	A	
		13　自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	A	９　子どもは何も言わなくても自分から家庭学習を行っている。	B			

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
・確かな学力の育成について，生徒自身の評価は高いが，保護者から見た評価はそれほどでもない。保護者の立場からは，今以上に学習に取り組んでほしいという要望があると考えられる。 ・生徒や教職員は授業時の話し合い活動が充実していると考えているが，保護者は子どもが自分の考えをわかりやすく説明する力がまだ備わっていないと感じている場合がある。 ・学習用タブレットの活用には，学校と家庭ともに課題がある。また教職員の活用状況も昨年から大きく向上していない現状である。 ・生徒質問項目１２の回答では生徒の肯定的な回答が昨年より６ポイント向上しており，主体的な学びの向上が見られる。 ・保護者質問項目８の回答で「よく思う」が昨年より１０ポイント向上しており，特定の生徒の学習意欲の向上が見られる。 ・教職員質問項目の１１の「よく思う」の回答が昨年より２７ポイント向上しており，キャリア教育の定着が見られる。	・家庭でも進んで学習を行えるような主体的な学びを子どもが行えるような仕掛けづくりが必要である。 ・学習活動の中で，自分の考えを適切に表現できる力の一層の向上を図る。 ・タブレットの活用を今以上に進めていき，生徒が操作に慣れることが必要であり，教職員も活用能力を高め，授業で使える場面を工夫していく必要がある。	・１，２年の時には，家庭学習が宿題ぐらいの状況になっている。親が言わないと勉強しない子どもも多い。 ・タブレットの使い方については，今後の家庭での普及率によっても大きく違ってくるようにも思うが，そうなると経済的な問題も絡んでくる。 ・インターネットが学習上も非常に便利で，調べたいことがすぐにわかり，自分の知識を増やすことが容易にできる。今後，画面を読み取る読解力などの力も必要だと言われている。 ・インターネットゲームでは，友達とつながっているがゆえに，自分だけの判断でなかなか止めることができない状況もある。 ・ネットのことは学校だけの指導では難しい部分があり，家庭へ情報発信をしていき，家庭での話し合いを進めてもらうことが必要になる。

３豊かな心と健やかに生きる力を育成する。	①基本的な生活習慣の定着を図り，運動機会を大切にするとともに，特別活動を通して自主性を伸長する。	14　大きい声で友達や先生にあいさつしている。	A	10　子どもは早寝早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身についている。	B			
		15　部活動は楽しく，積極的に参加している。	A			12（部活顧問）生徒は部活動で自発的に行動できている。	A	
		16　神中祭等の行事で，自ら進んで活動できた。	A	11　神中祭等の行事で，生き生きとした生徒の姿が見られた。	A	13（全教職員）神中祭等の行事においては，生徒の自発的な行動を促す工夫ができた。	A	
	②人権を尊重する精神を育み，同和問題をはじめとする人権問題についての正しい理解と実践力の育成に努める。	17　道徳の時間において，友達としっかり話し合えたり，手を挙げて発表したりできている。	A	12　子どもはやさしい人間として育ってきていると感じている。	A	14（学級担任）道徳の時間に，友達と話し合う場面を積極的に取り入れるよう工夫している。	A	
		18　学級での人権学習や合同学習は自分にとって大切な勉強だと思う。	A	13　子どもは友達と良い人間関係を築き上げている。	A	15（学級担任）道徳や学活の時間に計画的に同和問題をはじめとする人権学習を進められている。	A	
		19　合同学習や清掃等の縦割り班活動を積極的に行えている。	A					
	③特別支援教育のための校内体制を充実させ，適切な合理的配慮を提供する。	20　先生は一人一人に応じた対応をしてくれている。	A			16（全教員）個々の教職員が特別支援教育への学ぶ姿勢を大事にし，協働的な校内体制ができている。	A	

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
・豊かな心の育成と健やかに生きる力の育成について概ね推進できていると言える。 ・保護者質問項目の肯定的回答が昨年より１４ポイント減少しており，家庭での望ましい生活習慣の定着ができていない生徒が一部にいる。 ・生徒質問項目１７の肯定的な回答が昨年より１６ポイント向上しており，道徳等の授業で自分の考えを言える子どもが育ちつつある。 ・保護者質問項目の１２の「よく思う」の回答が１０ポイント向上しており，生徒の人間性の向上がうかがえる。また質問項目１３の「よく思う」も１４ポイント向上しており，友達関係の向上も見られる。 ・教職員の回答より，部活動への取組や人権学習，特別支援教育について肯定的な回答の向上が見られた。	・養護教諭中心に行っている長期休業日等の健康チェックを活用し，各自の生活を見直す機会を与える。 ・インターネット利用による夜更かしを防止するためにもインターネット安全教室を活用する。	・家庭の生活習慣については，生徒への指導だけでなく，保護者とともに取り組めるような方法を考えていくことが大切だ。 ・人権教育において，評価が高いことはとても良いと感じる。

４　保護者や地域住民に信頼される学校づくりを推進する。	①各種たよりの発行やホームページの活用により積極的な情報発信を行う。	21　学校からの配布物はきちんと家の人に渡している。	A	14　学校だよりや学校のホームページをよく見ている。	B	17（全教職員）各種たよりやホームページ等での情報発信を適切に行うことができた。	B	
	②教職員のコンプライアンス意識の醸成に努め，信頼される学校組織をつくる。					18（全教職員）教職員は倫理観や責任感を持っており，節度ある態度で職務に臨んでいる。	A	
	③ふるさとに学ぶ学習活動を重視し，校区の小学校と連携しながら，へき地教育の研究活動を進める。	22　神山町についての学習やつなぐ公社の方たちと行った学習活動が印象に残っている。	A			19（学年団教員）子どもたちに学習によって，ふるさとを大切に思う気持ちが育てることができた。	A	

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
・学校からの配布物を保護者に手渡せていない生徒が一部にいる。 ・各種たよりの発信や学校ホームページの更新が一部の教職員からの拡がりがない。 ・教職員の質問項目１９の「よく思う」の回答が２７ポイント向上し，ふるさと学習の向上が見られる。	・手渡すような指導を生徒に行うとともに各家庭との連携を強める。 ・ホームページ更新のスキルを教職員に研修することで，関わる教職員を増やす。	・ホームページは閲覧者数からすると多くの保護者が見てくれているが，一部には見ない方もいるようだ。 ・ホームページに学校の通知も載せて，保護者に見えるようにしている。 ・総合学習の中で，ふるさとへの取組は学校に定着しつつある。つなぐ公社等の団体とも連携がとれている。

５　協働した組織的な業務執行体制により，機能的で合理的な学校運営を行う。	①教職員個々の取組と学年や学校全体の協働した取組を適切に使い分ける。					20（全教職員）自分の役割を責任を持って果たすとともに，他の教職員の役割にも協力することができた。	A	
						21（全教職員）自分が行っている業務を改善するために，他の教職員からのアドバイスを受け検討した。	A	
	②全教職員による共通理解を大切にし，個々の学びの成果を共有する。					22（全教員）自分が研修してきた内容を他の教職員に広めることができた。	A	
	③全ての業務を見渡したときに公平感が感じられる組織づくりを進め，学校の体制としての働き方改革を推進する。					23（全教職員）教職員間の人間関係は良いと感じる。	A	
						24（全教職員）学校全体として働き方改革が進められている。	A	
						25　(県費職員)校務支援システムやグループウェアの運用について理解が進み，適切に活用できた。	A	

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
・概ね達成できているが次の課題がある。 ・教職員質問項目２２の「よく思う」の回答が８ポイント減少しており，個々の教職員の学びから全教職員への拡がりに課題がある。 ・教職員質問項目２３の回答では，「よく思う」の回答が１６ポイント減少しており，本年度の教職員のまとまりにやや課題がある。 ・教職員質問項目２５の回答より校務支援システムの活用についての向上が見られる。	・個々の学びを全体へ広げる取組を進める。 ・教職員の人柄や性格を超えた部分での協働活動を進めて行く。 ・校務支援システムは，スキルを持つ教職員から周囲への拡がりを持たせる。	・校務支援システムの使用について，一部の先生からの拡がりを今後目指していかなくてはならない。 ・お休みになっている先生の状況から一部負担が大きくなっている現状がある。 ・６０歳以上の先生のICT活用などの課題があると感じられる。